

令和4年度 学校経営方針（本年度の重点・努力点）

めざす学校像

未来を主体的に生き抜く力を育む、感謝・感動・共感にあふれた学校

- ◇ 子供たちにとって、「通って楽しい学校」 自信・希望、そして志へ
- ◇ 保護者にとって、「通わせたい学校」 学校及び教職員との信頼関係
- ◇ 教職員にとって、「やりがいのある学校」 教育のプロとして
- ◇ 地域住民にとって、「地域の誇りに思える学校」 学びの好循環

1 子供に対して	2 組織として	3 保護者・地域に対して
----------	---------	--------------

・一人一人を認め、はげまし、ほめる教育

・前年踏襲の廃止 「常に改善、常に一步前進」

・共に子供を育てる「共育」の推進

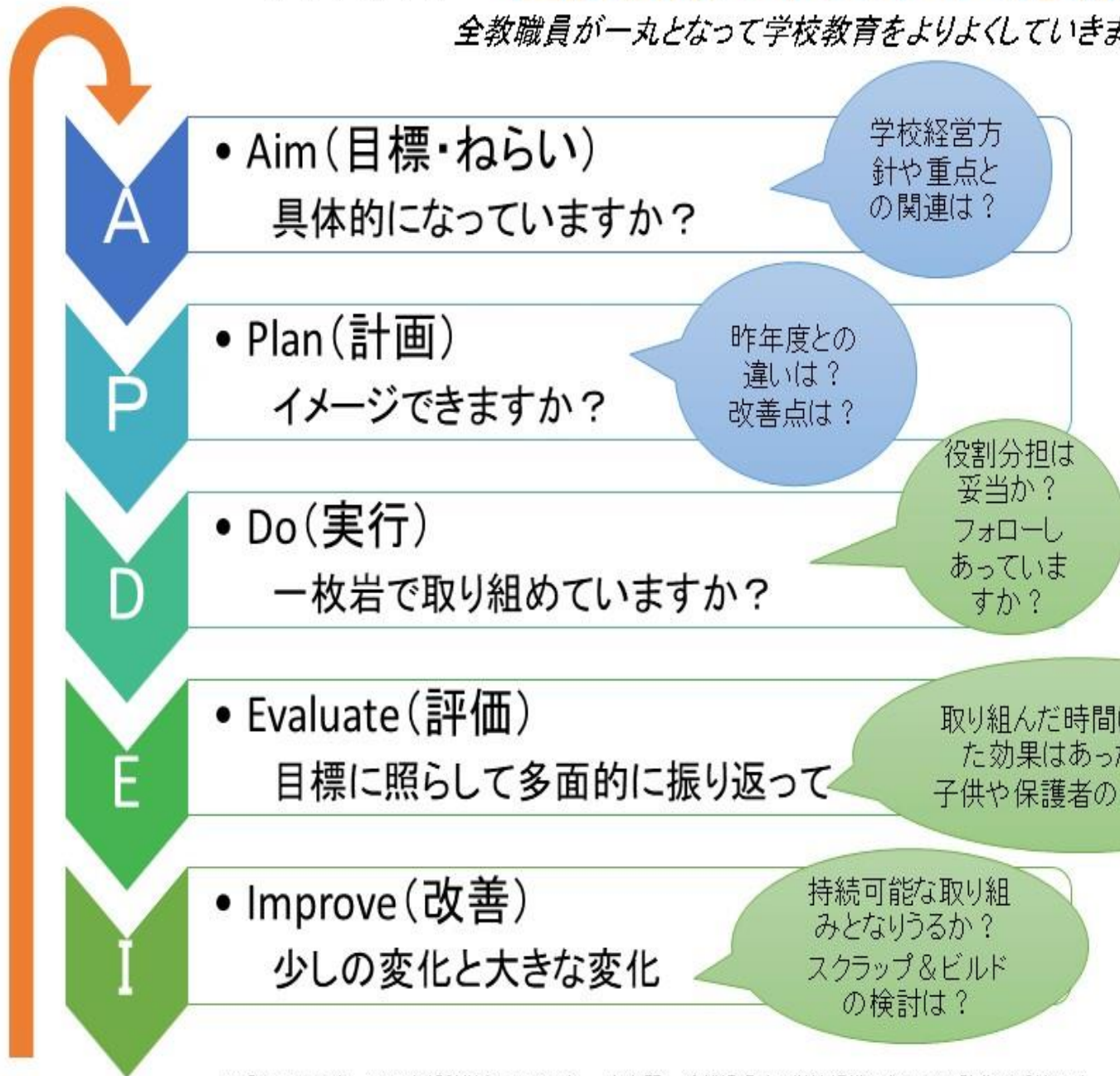
<p>① 豊かな人間関係の構築</p> <p>子供を生かす学級経営</p> <p>いつでもどこでもだれとでも爽やかな挨拶</p> <p>思いやりの心を育てる縦割り活動</p> <p>目的を明確にした活気ある学校行事</p>	<p>④ 子供に寄り添う生徒指導・教育相談</p> <p>配慮を要する児童への柔軟な対応</p> <p>いじめ見逃しゼロ・いじめで苦しむ子ゼロ</p> <p>特別支援教育の視点を生かす</p> <p>組織で子供を見守る体制づくり（情報共有と行動連携）</p>	<p>⑦ 学校組織マネジメントの強化</p> <p>APDEI トルネードの推進</p> <p>A(aim)目標→P(plan)計画</p> <p>→D(do)実行→E(evaluate)評価</p> <p>→I(improve)改善</p> <p>自己評価シートに基づく学校力の向上</p>	<p>⑩ 情報発信とコミュニケーション</p> <p>学校説明会の実施</p> <p>学校発出通知のペーパーレス化</p> <p>H Pを活用した教育活動の見える化</p> <p>授業参観・懇談会の工夫・充実</p>
<p>② わかる、できる、つかえる学びの創造</p> <p>主体的・対話的で深い学びの推進</p> <p>ICTの効果的な活用（GIGAスクール）</p> <p>学調分析に基づく授業改善</p> <p>高学年における一部教科担任制</p> <p>学校課題研究の推進（外国語）</p>	<p>⑤ 安全・安心な学校</p> <p>瑕疵による施設事故ゼロ</p> <p>安全点検の確実な実施と迅速な修繕</p> <p>食物アレルギーへの適切な対応</p> <p>多様なケースを想定した避難訓練の実施</p> <p>感染症予防対策の徹底</p>	<p>⑧ 業務の改善と効率化</p> <p>学校評価の見直しと活用</p> <p>スクラップ&ビルドによる業務・行事の精選</p> <p>フォローシップに基づく助け合い</p> <p>働き方改革の推進（在校時間の縮減）</p> <p>費用対効果を踏まえた経費削減</p>	<p>⑪ 保護者との連携</p> <p>学校と保護者のそれぞれの役割を明確化</p> <p>基本的な生活習慣の定着</p> <p>子供の情報を共有</p> <p>PTA 活動への理解と協力</p>
<p>③ 心と体をきたえる教育の推進</p> <p>考え議論する道徳の授業実践</p> <p>自分の命は自分で守る教育の推進</p> <p>あきらめない気持ちとやりきれぬ体力の育成</p> <p>外遊びの励行</p>	<p>⑥ きれいな学校</p> <p>清掃活動の徹底（無言清掃）</p> <p>教室・職員室等の整理整頓</p> <p>四季を通じた花壇等の整備</p> <p>子供の活動が見える掲示</p>	<p>⑨ 積極的な危機管理</p> <p>「スピードは誠意」丁寧な対応</p> <p>報告・連絡・相談・見届け・確認の徹底</p> <p>教職員不祥事ゼロ</p> <p>法令遵守と説明責任</p>	<p>⑫ 地域協働学校の推進</p> <p>学校運営協議会の円滑な運営</p> <p>学校課題の共有と解決</p> <p>学校応援団の活性化</p> <p>地域の教育力を活用</p>

生き生きとした学校づくりのキーワード「共生・協働・自立・創造・自己実現・社会貢献」

学校組織マネジメントの強化

全教職員が一丸となって学校教育をよりよくしていきましょう

APDEIトルネード



目指す学校像に向かって
教育活動が力強いうねりを起こす

※「APDEIトルネード」は文部科学省CSマイスター・大山賢一氏が提唱する学校組織マネジメント強化の手法です。